

令和7年度 第1回田原市地域公共交通会議会議録

会 議 名	[第71回]令和7年度 第1回田原市地域公共交通会議
開 催 日 時	令和7年6月24日(火)14:00～15:30
開 催 場 所	田原市役所 第1委員会室(北庁舎3階)
出席者氏名 (敬称略)	(委員) ○田原市副市長 鈴木 亨[会長] ○田原市都市建設部長 河邊 俊和[副会長][議長] ○豊鉄バス株式会社常務取締役 綿貫 琢也 ○豊鉄ミデイ株式会社取締役支配人 西山 恭昭 ○渥美交通株式会社代表取締役 鈴木 雅 ○愛知県タクシー協会豊橋支部長(豊鉄タクシー(株)取締役社長)(代理)岩原 誠 ○豊橋鉄道株式会社代表取締役社長 (代理)坂野 慎 ○東海北陸旅客船協会(伊勢湾フェリー(株)取締役社長)(代理)中岡 賢市 ○田原市老人クラブ連合会長 長神 隆士 ○田原市商工会副会長 天野 英一郎[監事] ○田原市民生児童委員協議会主任児童委員 柴田 邦子 ○国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官 (企画調整担当)(代理)山田 慎児 ○愛知県都市・交通局交通対策課担当課長 (代理)森本 恭平 ○愛知県田原警察署交通課長 秋葉 有志 ○愛知県東三河建設事務所維持管理課長 奥谷 敦史 ○豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授 松尾 幸二郎[副会長] ○一般社団法人渥美半島観光ビューロー事務次長 彦坂 真 (事務局) □都市建設部街づくり推進課長 鳥居 伸光 □都市建設部街づくり推進課 公共交通係長 山本 貴士 □都市建設部街づくり推進課 公共交通係主事 樽谷 佳奈子
欠席者氏名 (敬称略)	○公益社団法人愛知県バス協会専務理事 小林 裕之

報告事項	(1) 令和6年度田原市公共交通利用者実績等について (2) 第2次田原市地域公共交通戦略計画(地域公共交通網形成計画)における実施計画に関する令和6年度の主な取組について (3) ぐるりんバス運行事業者のプロポーザル審査結果について		
協議事項	(1) 令和6年度事業報告・収支決算(案)について (2) 田原市地域公共交通計画 別紙(令和8年度)(案)について (3) ぐるりんミニバス中山線デマンド運行実証実験に伴う区域運行の導入(案)について (4) 運賃協議会の設置及び運賃協議会会長の指名について		
会議の要旨	以下のとおり。	傍聴者	0名
鈴木会長 (副市長)	〔1 会長挨拶〕 皆様こんにちは、足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。 また日頃は、委員の皆様方におかれましては、田原市の公共交通に関しまして、ご尽力いただき、誠にありがとうございます。また、本年度から新たに委員に就任していただいた方々につきましては、どうかよろしくお願いいたします。 さて、令和7年度の大きな取組としましては、ぐるりんミニバス中山線デマンド運行の実証実験が挙げられ、また「伊良湖支線の維持等に対する取組」や「高齢者や高校生に対しての公共交通利用促進の充実」があります。 特に、中山線のデマンド運行実証実験につきましては、本市のぐるりんバスの今後の大きな指針となりますので、慎重に議論、検討を重ねてまいりたいと考えております。 本日の協議事項につきましては、次第にある通り、4件ございます。先ほど山田委員からのご説明のあったとおり、みなさまから忌憚のないご意見をいただき、実りある会議となることを期待しております。		
松尾副会長	〔2 報告事項〕 (1) 令和6年度田原市公共交通利用者実績等について ※事務局より説明【資料1】 童浦線の高校生の利用者は、田原市内の高校に通う利用者が増えたのか、もしくは、渥美線を乗り継ぎ、市外の高校に通う利用者が増えたのかどちらか。		
事務局	豊橋に通う生徒の利用が増えたと認識しています。		
山田委員	(2) 第2次田原市地域公共交通戦略計画(地域公共交通網形成計画)における実施計画に関する令和6年度の主な取組について ※事務局より説明【資料2-1～4】 サイクルラックバスについて、載せられる台数の上限は何台でしょうか。		

事務局	2台載せられます。
山田委員	一般市民向けに実験を開始するとのことですが、住民への周知はどのように進めていきますか。また、昨年度行った実証実験は、7人が対象だったので問題なかったと思われますが、住民全体となると、2台しか積載できない状況で、予約制なしで運用すると、乗れないことも想定されます。何かしらの対策等はあるのでしょうか。
事務局	周知については、ホームページ等でお知らせをしていきます。 予約制につきましては、豊鉄バスさんと協議した結果、難しいとなったことから、先着順とし、すでに2台積載されていれば、乗れないこととなります。 また、このサイクルラックは、かご付自転車は載せられない仕様ですので、スポーツタイプの自転車に乗られる市外から来られた方の利用を想定しています。 7月頃から実証実験を始めて、その状況を把握しながら進めていきたいと考えています。
山田委員 (愛知運輸支局)	先着順ということも含めてしっかりと周知をしていただき、トラブルの無いようにしていただけたらと思います。 (3) ぐるりんバス運行事業者のプロポーザル審査結果について ※事務局より説明【資料3】 ※意見等なし [3 協議事項] (1) 令和6年度事業報告・収支決算（案）について ※事務局より説明 【資料4-1、4-2】、天野監事から監査報告
松尾副会長 (技科大)	50円バスの利用状況について、近年利用者が減ってきていると伺ったが、実態はどうでしょうか。 また、運転免許自主返納支援でぐるりんバスの無料乗車券の利用のカウントをしているでしょうか。しているようであれば数を教えてください。 キャッシュレス決済に関連してですが、ぐるりんバスについては、キャッシュレス決済の利用者に対し、乗り継ぎ割引のようなことを行っているでしょうか。
事務局	ぐるりんバスの乗り継ぎ割引は実施しておりません。 50円バスの利用状況、ぐるりんバスの無料乗車券のカウントにつきましては、詳細な数値の資料が手元にありませんので、次の会議の際に、改めて報告させていただきます。
河邊議長 (都市建設部長)	ただいまの協議事項について、承認いただける方は挙手をお願いします。

	※挙手多数で承認。 (2) 田原市地域公共交通計画 別紙（令和8年度）（案）について ※事務局より説明【資料5－1、5－2】
森本委員 （愛知県）	1点ご報告をさせていただきます。この資料には出てきませんが、豊鉄バスさんの伊良湖本線につきましては、地域間幹線系統として国から別の補助金をいただくよう、県で補助金の取りまとめ等を行います。市内の路線ですので、引き続き、利用者数の推移など、この会議でも協議、情報共有をしていただきたいと思います。
河邊議長 （都市建設部長）	それでは田原市地域公共交通計画別紙について、採決に移ります。本案について、原案どおり承認することに異議ない方は挙手をお願いいたします。 ※挙手多数で承認。 (3) ぐるりんミニバス中山線デマンド運行実証実験に伴う区域運行の導入（案）について ※事務局より説明【資料6】
山田委員	実験で行うということは、道路運送法21条の手続き（一時的な需要のため国土交通大臣の許可を受けて、地域及び期間を限定して行う運行方法）により進めるという認識でよいでしょうか。
事務局	道路運送法4条に基づく手続きでと考えております。
山田委員	乗り合わせも可能ということでよいでしょうか。
事務局	はい。
山田委員	車両は1台だと思いますが、先約が入っている状況で、別の方が予約をされた場合、先約の方の到着時間が変わってしまうということが想定されます。予約の受付方についてどのようにお考えでしょうか。
事務局	本日、この後開催の分科会で詳細を検討していきたいと考えております。
松尾副会長 （技科大）	実証実験において、どのくらいの利用者数を見込むのか、開始までに検討しておくと思いいます。結果が出たときにどう評価するかという視点です。 また、事前にアンケートを取られるということですが、アンケートも回答どおりに

	利用があったのかという評価も大切ですが、一番は「今の利用者数よりも減らない」ということです。 今日～火曜日の利用者の方が、定時定路線運行の日に利用を移ってもらうか、デマンド運行を利用してもらえるようになればよいですが、「出かけない」という選択をしてしまうことは、よくありません。 今回、曜日を分けるというのは、予約に抵抗がある方に配慮してのことと思いますが、最低限の目標は、「利用が減らない」ということだと思います。 それに加えて、「新規に追加したバス停の利用がどれだけ増えるのか」も視点に加えるべきだと思います。減らないことが最低限の目標と言いつつも、おそらく、減ってしまうのでは、とも思います。ですから、新規のバス停の利用がどれだけ増えたかという視点も加えて、バランスを見た評価軸を評価検討すべきではないでしょうか。
事務局	新たに設置したバス停の利用者、定時定路線とデマンドの各利用者の比較など、測るところは多々あるかと思うので、分科会でも精査して詰めていきたいと考えています。 他市では、デマンド運行導入により利用者が減っているという事例もある中で、今回の実証実験では、公共交通空白地域4地域にバス停を追加します。その地域の利用状況等も踏まえ、利用者が減ることについて、どの程度許容するのかなどの検討も必要ですが、中山線に合致した運行方法についてしっかりと検討していきたいと考えています。
河邊議長 (都市建設部長)	それでは、ぐるりんミニバス中山線デマンド運行実証実験に伴う区域運行の導入(案)について採決に移ります。本案について、原案どおり承認することに異議ない方は挙手をお願いいたします。 ※挙手多数で承認。
河邊議長 (都市建設部長)	(4) 運賃協議会の設置及び運賃協議会会長の指名について ※事務局より説明【資料7-1～3】 ※意見等なし それでは、運賃協議会の設置及び運賃協議会会長の指名について採決に移ります。本案について、原案どおり承認することに異議ない方は挙手をお願いいたします。 ※挙手多数で承認。
河邊議長 (都市建設部長)	それでは、運賃協議会について設置が承認されましたので、設置要綱に基づき、会長は、運賃協議会会長の指名をお願いいたします。

鈴木会長 (副市長)	それでは、運賃協議会会長に田原市都市建設部長の河邊委員を指名させていただきます。運賃協議会委員の皆様におかれましては、本公共交通会議に引き続きとなりますが、よろしくお願いいたします。 協議事項(1) 令和6年度事業報告・収支決算(案) についてに関する補足
事務局	協議事項(1)令和6年度事業報告・収支決算(案)についてでいただいたご質問について補足させていただきます。50円バスの利用が減少しているのではないかとのことでしたが、期間中の本市のぐるりんバスの利用者数ですが令和5年度が661人、令和6年度が555人ということで減少傾向にあります。
長縄委員 (豊鉄バス)	昨年度は、夏休みの終わりに台風が来まして、それで伸び悩んだと認識しています。今年度はそういうこともなく、利用者数が伸ばせるとよいと考えています。
松尾副会長 (技科大)	50円バス実施機関に、地域の商店などで小学生がバスで来店したら半額にするなど、地域と一緒に取り組めたら良いと思います。 ぐるりんバスで、ハロウィンの時にお菓子を配っていましたが、あのようなイベントを同時に行うといったこともよいと思います。 非常に良い機会です。子どもを50円にすることで保護者の乗車も見込めますので、よい取組だと思います。
事務局	伊良湖本線・支線の数値は手元にありませんので、後日ご報告いたします。
松尾副会長 (技科大)	50円バスの取組については、この地域で長く続く素晴らしい取組ですが、静岡県などでは、2日間限定ではありますが、県内全域で小学生無料にすることもできています。更なる活性化の企画も検討するのも一つ大事なことでと思います。50円バスの企画が出てきた、東三河公共交通活性化協議会も重要な役割を持っていると思いますので、活性化に向けて取り組んでいただきたいと思います。
松尾副会長 (技科大)	また1点、質問を逃してしまったことがありますので、この場で質問させていただきます。協議事項(2) 田原市地域公共交通計画 別紙(令和8年度)(案)についての際に、森本委員から、伊良湖本線について県で取りまとめて申請をするとの話がありましたが、伊良湖支線はどうなっているのでしょうか。
森本委員 (愛知県)	年によって市か県かと申請者が異なる路線もありますが、伊良湖支線も県が取りまとめて計画に記載するはずです。
事務局	補助金のもらい忘れが無いよう、しっかりと確認し、事務を進めてまいります。

河邊議長 (都市建設部長)	それでは協議事項はすべて終了いたしました。議長の任を解かせていただき、事務局に進行をお返しいたします。その他、連絡事項をお願いいたします。 【4 その他】 (1) 意見・情報交換
坂野委員 (豊橋鉄道)	予定の話で恐縮ですが、お知らせさせていただきます。 渥美線ですが、9月頃、ダイヤ改正を予定しております。現在は、平日も土日も同じ時刻で運行していますが、土日に限ってダイヤの変更を予定しております。 現行は15分おき、1時間当たり4本の運行ですが、土日に限りまして、20分おき、1時間当たり3本の運行に見直すよう検討しております。 背景としましては、コロナ禍を経まして、お客様全体の動きに変化があったということがございます。定期券のお客様は、コロナ前の状況に戻ってまいりましたが、定期外のお客様は回復しておりません。 今後、運輸局への手続きを進めつつ、正式にプレスリリースやホームページで公表してまいります。事前のお知らせということで、お伝えさせていただきます。 引き続き、利用促進につきましては、マナカの利用の乗り継ぎ割引や、大人こどものペア切符なども提供させていただいております。市と連携しながら努めてまいりたいと考えております。 12月から2月にかけて、小児用マナカをお持ちの方について、運賃をマイレージポイントで還元するということをやっております。夏休み期間に同じような企画ができればと、現在検討しております。何らかの形で子供さんの利用促進につなげたいと考えております。
事務局	ダイヤ変更につきましては、ぐるりんバスのダイヤ変更にもつながりますので、共通認識をもって進めていけたらと思います。また、ガイドブックの印刷等にも影響がございます。調整についてよろしくお願いします。
中岡委員 伊勢湾フェリー	弊社から1点お知らせです。燃料費の高騰や賃金上昇など経済状況の変化があり、経費削減に努めてまいりましたが、依然として厳しい状況が続いており、安心安全な運行の継続のため、10月1日付で運賃改定を実施させていただきます。また、その旨を本日プレスリリースいたしました。 値上げ率は乗用車等で5%、旅客運賃で10%となります。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。
長縄委員 (豊鉄バス)	マナカを導入しましたが、利用率が50%を超えるようになりました。マナカを利用していただくと、小銭を持たなくてよいというメリットがございますが、運行事業者としましても、運行がスムーズになるというメリットがございますので、7～8割まで伸ばしたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

事務局	(2) 次回の開催予定について ありがとうございました。それでは次回開催予定でございます。 次回公共交通会議につきましては12月に開催を予定しております。 それでは皆さん、長時間にわたり、慎重審議いただき誠にありがとうございました。これをもちまして会議を閉会させていただきます。
-----	--